

所蔵浮世絵名品展

HARU

春を寿ぐ

Ukiyo-e Prints and Paintings Celebrating
the New Year from the CCMA Collection



葛飾北斎《富嶽三十六景 神奈川沖浪裏》天保2～4年(1831～33)頃

2017年 1月4日(水)～2月26日(日)

開館時間:10:00～18:00(金・土曜日は20:00まで)※入場受付は閉館の30分前まで

休館日:1月16日(月)、2月6日(月)

観覧料:一般200(160)円、大学生150(120)円

※千葉県在住の65歳以上の方、小・中学生、高校生、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名までは無料

※同時開催「ブラティスラヴァ世界絵本原画展—絵本の50年 これまでとこれから—」をご覧の方は無料

※()内は団体20名以上の方の料金

千葉市美術館

Chiba City Museum of Art

〒260-8733 千葉市中央区中央 3-10-8

Tel. 043-221-2311(代) <http://www.ccma-net.jp>



浮世絵は、江戸時代17世紀後半に誕生し、その後200年以上も続けられました。人々の興味を誘う主題を選び、木版画によって量産され、また安価に販売された浮世絵は、庶民に至るまで絵を楽しむことのできる世界でも稀な文化状況を形成したのです。特に錦絵と呼ばれる色彩豊かな多色摺木版画の美しさは、江戸の人々の誇りでもあり、当時の文化を代表するものと言えます。この展覧会では、千葉市美術館所蔵の浮世絵から、新春らしい寿ぎの気分にあふれる作品を中心に展示します。

東洲斎写楽《三代目大谷鬼次の江戸兵衛》寛政6年(1794)



酉年を寿ぐ

2017年の干支酉年にちなんで、鳥を描いた作品と正月らしい縁起の良い絵を紹介します。



葛飾北斎《雪中松に鶴図》
天保4年(1833)頃

初夢 一富士 二鷹 三茄子



葛飾北斎《富嶽三十六景 神奈川沖浪裏》天保2~4年(1831~33)頃

初夢で見ると縁起が良いとされる「一富士二鷹三茄子」。これらのモチーフを描いた縁起の良い作品を展示します。



江戸の美しい絵本 喜多川歌麿とその周辺

精緻な彫と摺が美しい喜多川歌麿や葛飾北斎の豪華な絵本や、同時代の錦絵をあわせてご覧いただけます。



上 喜多川歌麿『潮干のつと』寛政元年(1789)頃刊

中・右 喜多川歌麿『絵本隅田川両岸一覽』より 文化期(1804~18)



4Kプロジェクターによる特別映像も公開します！

協力：おもてなしICT協議会



関連イベント

新春の獅子舞

1月4日(水)の開場時には、8階会場入口で獅子舞がお迎えます。
出演：登渡神社登戸神楽囃子連

市民美術講座「春を寿ぐ 所蔵浮世絵名品展」

講師：田辺昌子(当館副館長兼学芸課長)
1月14日(土) 14:00~(13:30開場) / 11階講堂にて / 先着150名 / 聴講無料

同時開催

「ブラティスラヴァ世界絵本原画展
—絵本の50年 これまでとこれから—」

次回展予告

「第48回千葉市民美術展覧会」2017年3月4日(土)~3月24日(金)
「絵本はここから始まった ウォルター・クレインの本の仕事」
2017年4月5日(水)~5月28日(日)

交通案内

◎JR千葉駅東口より

■徒歩約15分

■バスのりば7より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」または「大和橋」下車徒歩約3分

■千葉都市モノレール県庁前方面行「葭川公園駅」下車徒歩約5分

◎京成千葉中央駅東口より

■徒歩約10分

◎東京方面から車では京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く

※千葉市中央区役所と同じ建物です。
※地下に、区役所と共用の機械式駐車場がありますが混雑時はご不便をおかけすることもありますので、公共交通機関のご来館をお願いします。

